

# 第 7 回『日本語体験コンテスト in プノンペン』

## 実施報告書



<後列左より> 青木総務委員長、石坂審査委員、大塚審査委員、菊川実行委員長、鈴木参事官(在カンボジア日本国大使館)

山崎支店長(全日本空輸株式会社プノンペン支店)、土屋総務委員

<前列左より> 入賞者 5 名: SITH SEREYKUNG, SOT SOTHEA, YUN SOKUNTHYREACH, DUONG MARY, PICH REAKSA

- 【開催日】 2019 年 8 月 8 日(木) 予選会 13:00～ 本選会 14:30～
- 【会場】 プノンペン市 SUNWAY HOTEL 2F
- 【主催】 一般財団法人 共立国際交流奨学財団
- 【現地運営団体】 NPO 光語学スクール
- 【後援】 日本国文部科学省  
在カンボジア日本国大使館  
全日本空輸株式会社プノンペン支店
- 【協賛】 株式会社 共立メンテナンス
- 【協力団体】 Cambodian Mekong University  
TAYAMA BUSINESS SCHOOL  
王立プノンペン大学

## <総評>

2013 年より始まった「日本語体験コンテスト in プノンペン」は 2019 年度で第 7 回目を迎えました。

第 7 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」は 8 月 8 日(木)カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL 2F にて開催されました。

一次予選会では、日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などの幅広い分野から、聞き取り問題 30 問が出題されました。コンテスト参加申込者は 83 名で、当日の参加者は 49 名でした。

そして、予選会を通過した 18 名が、本選会の 3 分間即興スピーチに進みました。本選会の即興スピーチでは、その場で出された 3 つの課題、

- ①日本では翻訳機が売られています。もしあなたが翻訳機を手に入れたら、日本語を勉強しないで翻訳機を使いますか？それとも使わないで日本語を勉強しますか？その理由を話してください。
  - ②日本政府は「日本人は働きすぎる」という問題から、働き方を変えようとしています。働きやすくするためにどんな方法があると思いますか？その方法を教えてください。
  - ③日本語を習得するのは難しいと思いますか？それとも簡単だと思いますか？その理由を話してください。
- というテーマから 1 つを選択し、5 分間のシンキングタイムの後、3 分間の即興スピーチを行いました。テーマ①を選択した人は 5 名、テーマ②を選択した人は 9 名、③を選択した人は 4 人と、やや偏りが見られました。

そして、審査委員 3 名による審査の結果、入賞者 5 名が選ばれ、賞状と賞品目録が授与されました。

入賞賞品としては、2020 年 1 月 19 日(日)～1 月 26 日(日)(7 泊 8 日 1 泊機内泊)の日程で、日本体験旅行に参加する権利を与えられました。

この日本体験旅行で日本の生活や文化を体験し、日本留学の夢を実現する為の旅行にしてもらい、さらなる日本への興味、理解を深めてもらいたいと思います。

## <実施報告>

### ■ 予選会

予選会	13:00～	開会の辞・注意事項説明
	13:05～	予選（日本語聞き取り問題 30 問）

日本の地理、政治、経済、文化、文学、社会、流行などについての聞き取り問題 30 問



受付の様子



応募総数 83 名中、49 名が参加  
一次予選(聞き取り問題)に挑戦

**成績上位者 18 名が本選会へと出場しました！**

### ■ 本選会

本選会	14:30～	予選通過者発表
	14:40～	開会の辞・審査委員紹介・注意事項説明
	14:50～	シンキングタイム（5分間）
	14:55～	スピーチ

### スピーチ課題

- ①日本では翻訳機が売られています。もしあなたが翻訳機を手に入れたら、日本語を勉強しないで翻訳機を使いますか？それとも使わないで日本語を勉強しますか？その理由を話してください。
- ②日本政府は「日本人は働きすぎる」という問題から、働き方を変えようとしています。働きやすくするためにどんな方法があると思いますか？その方法を教えてください。
- ③日本語を習得するのは難しいと思いますか？それとも簡単だと思いますか？その理由を話してください。



テーマ①では、「翻訳機は辞書と比べて時間を短縮して意味を調べることができる」「旅行の時に使用するには良い」などメリットを挙げながらも、このテーマを選んだ全員が“翻訳機を使用して勉強はしない”という意見を述べました。その理由として、「感謝の想いを自分の口から直接伝えたい」「機械はいつか壊れる」と、自分の意見を堂々とスピーチしていました。

テーマ②は、一番多く選ばれたテーマでした。日本人が働きすぎてしまう原因として「少子高齢化によって働く人が減っている」「物価が高いから残業しないといけない」など、日本の時事問題を理解している様子が見受けられました。そのような問題を述べた上で、「政府が残業を禁止する」「外国人労働者を増やすべき」「自分にもっと優しくすべき」など、解決策を述べていました。

テーマ③では、日本語を勉強している学生が、どのような点で苦戦しているのかが良く分かりました。特に、漢字や文法の複雑について、自国の言語と比較しながらスピーチしていました。

3分間のスピーチの後には、審査委員からスピーチに対する質問がありますが、しっかりと返答している参加者が多い印象でした。



3分間の即興スピーチの後、審査委員からの質問に答えます。

## ■ 表彰式

表彰式	16:30～	夢・日本体験賞」発表(5名)
-----	--------	----------------

### 式次第

- 一、開会の辞
- 一、実行委員長挨拶
- 一、来賓挨拶
- 一、審査委員長講評
- 一、賞状授与
- 一、奨励賞授与
- 一、閉会の辞

<実行委員長 挨拶>



菊川実行委員長

<来賓 挨拶>



参事官 鈴木 宏典様  
(在カンボジア日本国大使館)

<来賓 挨拶>



山崎 格正 支店長  
(全日本空輸株式会社  
プノンペン支店)

<審査委員長 講評>



大塚審査委員長

<賞状授与>



菊川実行委員長より入賞者 5 名に  
賞状と目録が授与されました。

<奨励賞授与>



青木総務委員長より一次予選通過者 13 名に  
奨励賞が授与されました。

## 『夢・日本体験賞』



入賞者 5 名には、  
『夢・日本体験賞』  
(7 泊 8 日の日本体験旅行)  
を贈呈致しました。



氏名	所属学校 日本語学校
セັット セレイクン SITH SEREYKUNG	タヤマビジネススクール
ស៊ីត ស៊ីតធី SOT SOTHEA	カンボジアメコン大学
យ៉ុន សុគុណធីរិយ៉ាច់ YUN SOKUNTHYREACH	OSスクール
ឌួង ម៉ារី DUONG MARY	王立プノンペン大学 NPO光語学スクール
ប៉ិច រីកសា PICH REAKSA	王立法経大学(RULE) 名古屋大学日本法教育研究センター

## < 講 評 >



審査委員・出題委員長 石坂 友絵

(学) 共立育英会 共立日本語学院 教務副主任

第 7 回目となる日本語体験 in プノンペンが盛大に開催され、予選会には 49 名の方が参加されました。その真剣に取り組む姿から、日本へ行くチャンスを掴みたいという熱い気持ちが、ひしひしと伝わってきました。

そんな中、本選会には 18 名の方が進出され、さらに緊張感あふれる中で行われました。発表者の日本語レベルはまちまちでしたが、各々が知っている限りの言葉で、一生懸命話している姿に胸を打たれました。

今回、三つのテーマの中で一番多く選ばれたのは、日本人の働き方改革についてアイデアを述べるというものでした。驚いたことに、10 名の方がこのテーマを選んでいました。やはり日本人は働き過ぎだと思っている方が多いのだと感じさせられました。このテーマでは日本の少子高齢化を取り上げ、外国人労働者の受け入れや高齢者の再雇用にも言及している方もいて、現在日本が抱える課題に対しても、意見を述べられるということに感心しました。

また、翻訳機を手に入れたら、日本語の勉強をしなくて使用するか否か、というテーマでは、ほとんどの方が自分で勉強すると話していました。その中でも、自分の口で「ありがとう」と伝えたいというスピーチに心が温まりました。

少し気になったのは手を挙げて発表された方が少なかったことです。あの場で挙手をして前に出るのは勇気が要ることだと思いますが、スピーチにおいては、表現や構成の上手さと同様に、「積極性」も大切な要素だと思います。失敗や間違いを恐れずに、是非積極的に自分の思いを伝えてほしいと思います。

今回見事受賞された方には、日本体験旅行で生の日本に触れていただき、その経験が皆さん自身に、ひいては国際社会に役立つものになることを期待しています。来年もカンボジアの皆さんの情熱がこの日本語体験コンテストを大いに盛り上げてくれることを楽しみにしております。